

各医科大学長
各大学大学院医学系研究科長
各大学医学部長
各関係機関の長

広島大学大学院医歯薬保健学研究院長 安 井 弥
(公印省略)

基礎生命科学部門教授候補者の推薦について(依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

広島大学は、今後10年以内に、知を創造する世界トップ100の総合研究大学となることを目標に、卓越した研究拠点の形成・展開に力を入れて取り組んでおり、最近では文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」(トップ型)、「研究大学強化促進事業」にも採択されたところです。

このたび本研究院では、基礎生命科学部門において細胞生物学、発生・再生医学あるいは神経科学などの分野を専門として研究に従事し、本学の研究力強化を推進していただく教授を公募することとなりました。

なお、教育に関しては、学部では組織学、発生学、神経解剖学などの領域における授業を担当していただき、大学院では「特別演習」及び「特別実験」等を担当していただきます。

採用は、平成27年4月以降なるべく早い時期の予定で、教授就任後に教員2名を採用することが可能です。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮に存じますが、貴学又は関係機関等で適任者がございましたら、下記によりご推薦賜りたくお願い申し上げます。

敬 具

記

1 提出書類

- (1) 推薦書 (様式任意)
- (2) 履歴書 (様式1)
- (3) 業績目録 (様式2-1, -2, -3, -4)
- (4) 研究実績の概要と今後の展開・抱負(約2,000字) (様式3)
- (5) 教育の実績と今後の抱負(約2,000字) (様式4)
- (6) 科学研究費補助金、各種研究補助金の取得状況 (様式5)
- (7) 論文別刷(主要なもの10編を各2部ずつ提出)

提出書類の様式は、

http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/saiyo_syusyoku/kyoinkobo/index.html からダウンロードすることが可能です。

2 提出期限 平成26年11月7日(金) (17時必着)

3 提出先 〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号

広島大学霞地区運営支援部総務グループ(人事主担当) 一原宛
(TEL (082)257-5972)

kasumi-jinji@office.hiroshima-u.ac.jp

* 応募書類は、書留又は簡易書留で郵送し、封筒の表に「基礎生命科学部門教授応募書類在中」と朱書きしてください。

* 応募書類により取得する個人情報は、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福利関係に必要な手続を行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

4 その他

選考の過程において、教育、研究等に関する講演をいただくため、ご来学願うこともありますので、ご承知おきください。

広島大学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、男女共同参画を推進しています。

記 載 上 の 注 意 事 項 等

提出書類は、以下の各項目について添付の様式をもとに作成する。

ただし、A4版で所定の項目が記入されていれば、添付の様式に準じて作成してもよい。

1 履歴書(様式 1)

- (1) 「学歴」の欄には、大学学部入学以降の学歴、研究生等の研究歴を記入し、かつ、所属教室・研究室名も記入する。
- (2) 「学位」の欄には、授与された大学名を()内に記入する。
- (3) 「職歴」の欄には、給与関係を除き、履歴の空白部分には説明をつけ、かつ、所属教室・研究室名も記入する。

2 業績目録(様式 2-1, 2-2, 2-3, 2-4)

- (1) 原著、総説、著書及び学会発表(様式 2-1, 2-2)

原著、総説及び著書は、欧文と邦文に分け、学会発表は、国外発表と国内発表に分け、欧文、国外発表は様式 2-1 に、邦文、国内発表は様式 2-2 に次の区分及び順序で記載する。ただし、国内で開催された国際学会は国外発表に入れる。なお、各区分ごとに年代順に番号を付すものとする。

ア 原 著

- 1) 学位の主論文には、番号に◎印を付す。
- 2) 投稿中のものは記載しないこと。
ただし、受理されて印刷中のものは、その証明となるものを添付のうえ記載する。
- 3) 学会抄録は記載しない。
- 4) それぞれの論文について、著者全員の氏名を順に記載する。
- 5) 欧文原著に関しては、トムソン・ロイター社「2014 Journal Citation Reports」によるインパクトファクターを I F の欄に記載する。

イ 総 説

- 1) 投稿中のものは記載しないこと。
ただし、受理されて印刷中のものは、その証明となるものを添付のうえ記載する。
- 2) それぞれの論文について、著者全員の氏名を順に記載する。
- 3) 欧文総説に関しては、トムソン・ロイター社「2014 Journal Citation Reports」によるインパクトファクターを I F の欄に記載する。

ウ 著 書

共著の場合は著者全員の氏名を、分担執筆の場合はどの項を分担したかを記載する。また、翻訳の場合は、その旨を記載する。

エ 学会発表等

特別講演、招待講演、教育講演、シンポジウム(司会を含む)等の発表のみを記載する。

- (2) 主要論文要旨(様式 2-3)

上記(1)ア～ウのうち、業績を代表する主要論文 10 編の番号に○印を付し、それぞれの要旨を 200～400 字で記入するとともにそれぞれの被引用回数、その検索に使用したデータベース、及び検索した日付を併せて記入すること。なお、主要論文の別冊には、業績目録の番号を必ず付すこと。

- (3) 受賞、加入学会(会名・役職名)、社会における活動(様式 2-4)

次の区分及び順序で記載する。

ア 受賞

イ 加入学会及び役職名

ウ 社会における活動

各種の社会的講演並びに公的各種委員会・審議会等への貢献

3 研究実績の概要と今後の展開・抱負(様式 3)

これまでの研究の概要と今後の研究の展開・抱負を、それぞれ、約 1,200 字、約 800 字で記載する。

4 教育の実績と今後の抱負(様式 4)

教育(学部・大学院)に対する実績と抱負を、それぞれ、約 1,200 字、約 800 字で記載する。

5 科学研究費補助金、各種研究補助金の取得状況(様式 5)

過去に取得した研究費(科学研究費、他省庁・地方自治体・研究助成法人・民間企業等からの研究費を含む)の名称、期間(年度)、研究課題名、代表・分担の別、当人の担当する金額を年代順に記載する。

6 その他

以上はそのままコピー可能なものを提出する。用紙不足の場合は、同様式のものを作成する。

(様式 1)

履歴書

ふりがな 氏 名		印	旧氏名	
			生年月日	昭和 年(19 年) 月 日
所 属				
所 在 地	〒 TEL ()			
現 職				
本 籍 地	都道府県			
現 住 所	〒 TEL () E-mail アドレス			
学 歴				
免 許	昭和・平成 年(年) 月 日			
	昭和・平成 年(年) 月 日			
学 位	昭和・平成 年(年) 月 日 ()			
職 歴				

(様式 2 - 1)

業績目録 (欧文, 国外発表)

(氏名) (NO.)

番号	著者名 (全員の氏名を順に記載する。)	原著 (題目・誌名・巻・初頁～終頁・年), 総説 (題目・誌名・巻・初頁～終頁・年), 著書 (書名・分担項目名・初頁～終頁・発行所・年), 学会発表等 (国外)	I F

(様式 2 - 2)

業績目録 (邦文, 国内発表)

(氏 名)

(NO.)

番 号	著 者 名 (全員の氏名を順に記載する。)	原著 (題目・誌名・巻・初頁～終頁・年), 総説 (題目・誌名・巻・初頁～終頁・年), 著書 (書名・分担項目名・初頁～終頁・発行所・年), 学会発表等 (国内)

(様式 2-3)

主 要 論 文 要 旨

氏 名 _____

(様式 2-4)

業績目録

(氏名)

(NO.)

受賞，加入学会（会名・役職名），社会における活動

(様式 3)

研究実績の概要と今後の展開・抱負

氏 名 _____

(様式 4)

教育の実績と今後の抱負
(教育(学部・大学院)に対する実績と抱負)

氏名 _____

(様式 5)

科学研究費補助金，各種研究補助金等の取得状況

(氏名)

(NO.)

番号	名 称	研 究 課 題 名	期 間 (年度～ 年度)	代表・分担の別 (分担の場合は 代表者名記入)	金額(千円) (分担の場合は 配分額を記入)